

令和7年度 あいの里東中学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：32013

実態	「学ぶ力」	
	これまでの 成果	課 題
	◇本校では、『個別最適な学び』と『協働的な学び』の一体的な充実を最重点として実践を重ねてきた。全国学力・学習状況調査の結果から、課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組む姿勢が見られた。また、自分と違う意見について考えることが楽しいと思う生徒が多くいることがわかった。さらに、他者と話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができる生徒の割合も高い。以上のことが成果として表れている。	◇協働的に学ぶ姿勢が高い一方で、「分からないことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている」生徒の割合は、全国に比べて低い。身に付けた知識を活用して思考を深めることはできても、未知の問題に対する解決方法を自分で考えることには課題がある。各教科における課題設定場面の一層の工夫が必要である。また、ICTの効果的な活用についても研修を重ね、生徒が自ら学習を進めることができる工夫も必要である。

「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く相互承認の態度〉の現状と課題

◇全国学力・学習状況調査の結果から、「自分にはよいところがある」と感じている生徒や、「学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決める」ことができる生徒が多い。このことから、相互承認をする素地は養われていると考える。本校では、「心豊かに真理を求め未来を拓く生徒」を目指す生徒像としている。したがって、仲間と互いのよさを認め合いながら主体的に行動することができるよう、諸行事や日常活動を充実させる。

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

自ら課題を設定し、主体的に学びに向かう力

取組	AAR サイクルの視点で捉え直した 課題探究的な学習の推進	さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」に基づく 自主的な活動の充実
	◇授業における学習課題の明確化と言語活動の充実 →個々の生徒が見通しをもって取り組むことができる学習課題 ◇「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実 ◇粘り強く挑戦する意欲を高める ◇「自ら学ぶ方法」と「他者と学び合う方法」を身に付ける ◇自ら学びを振り返る場面の設定（リフレクション） ◇学習意欲の向上につながる学習評価 	◇自主的な活動の推進 ・自分たちの意思を実現する ・自分たちの問題を自分たちで解決する ・自分たちの行動に責任をもつ ◇「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり ・家庭や地域と連携し、子どもの思いや願いを受け止める 

〈本プログラムの実行に向けて〉

